

事業所名		グローバル・ピラ				支援プログラム（参考様式）		作成日		R8 年		7 月		10 日	
法人（事業所）理念		「身辺自立・作業・移動という、生きる力の3本柱を直接体験を通じて育てる。」 ①利用者の生命、人権を大切にし利用者ご本人の潜在的な地力を引き出すことを目指します。 ②利用者・ご家族・支援員が共に笑顔でいられるように喜びと感動の共有を図ります。 ③地域との連携、協働を図ることにより理解と参加協力を得ることができるよう努めます。 ④法令遵守し安定経営し、職員一人一人がやりがいや責任を持ち生き生きと働き続けられる職場づくりを目指します。													
支援方針		一人ひとりの特性に合わせたカリキュラムを行うことで、一人でも多くの子どもたちが「楽しいから始める学びの第一歩」を踏み出すことができ、自ら考え行動が出来る子に成長し、より豊かな人生を歩んでいくことをサポートする児童発達支援です。													
営業時間		11 時		0 分から		19 時		0 分まで		送迎実施の有無		あり			
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	・定期的に来所することで、心身の状態を把握し、健康状態の維持・改善に必要な生活リズムを身につけることができるように支援する。 ・自分でできることを増やせるように事業所内で統一した関わりを持つようにし、理解しやすく、安心して過ごしやすい環境設定を行う。 ・時間や空間など、わかりやすく環境を構造化し、遊びを通して様々な学びを促進する。													
	運動・感覚	・体力の維持・促進を支援する。 ・姿勢と運動・動作の基本的技能の向上を図る。 ・姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用、身体の移動能力の向上を図る。 ・保有する感覚(視覚、聴覚、触覚)を十分に活用し遊びを通して物質の変化と感覚の認知形成を養う。 ・感覚の補助及び代行手段の活用を促す。(状況を把握しやすくするために眼鏡、補聴器等)													
	認知・行動	・個々の認知の特性に応じた対応を行ない、対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得を支援する。 ・様々な感覚を活用し、認知機能、知覚から行動への認知過程、認知や行動の手掛かりとなる概念の形成を支援する。 ・一日の流れ、課題の内容などカードや実物を用いて伝え、日常生活に必要な判断、行動につながるように支援する。 ・対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得を図る。 ・個々の認知の特性や本人の視点に立った支援を行ない、偏食やこだわり、行動障害の予防や適切な対応を行なう。													
	言語 コミュニケーション	・コミュニケーションの基礎的能力の向上、言語の受容と表出、言語の形成と活用を図る。 ・人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得を図る。共同注意を育み、相手の意図を理解できるように支援する。 ・コミュニケーション手段を選択し、状況に応じたコミュニケーションがとれるように支援する。 ・読み書き能力の向上を図る。													
	人間関係 社会性	・大人との信頼関係を築き、アタッチメント（愛着）の形成と安心して自分の感情に折り合いがつけられるように支援する。 ・模倣する機会を日常の中で作り、人から学ぶ機会を持てるように支援する。 ・発達段階に応じた遊びを通して、社会性の発達を促す。 ・自分の傾向や状況に気付き、気持ちや情動に応じて行動を調整できるように支援する。 ・集団の活動への参加を通して、互いに協力したり理解し合い、仲間作りができるように支援する。													
家族支援		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に応じていきます。具体的には、定期的な活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信して いきます。							移行支援		ライフステージの切り替えを見据えた、地域の生活の場や育ちの場との交流や情報交換の機会を提供致します。				
地域支援・地域連携		・地域で適切な支援を受けられるよう、関係機関と連携し、地域の子育て支援力を高めるためのネットワークを構築する。							職員の質の向上		・支援に関わる人材の知識・技術を高めるため、様々な研修を実施し、知識・技術の取得意欲を喚起する。				
主な行事等		・進級・入園の集い こどもの日 ・夏祭り ・運動会 ・遠足 ・療育参観・親子レク ・お楽しみ会 ・初詣 ・節分 ・ひな祭り ・卒園式 ・保護者懇談会(年2回) ・給食試食会 ・保護者向け勉強会													